

ニュースリリース



2016年3月7日

一般社団法人
ライフサポートマネジメント研究所

ライフサポートマネジメント研究所が、北越銀行との営業アライアンスを発表

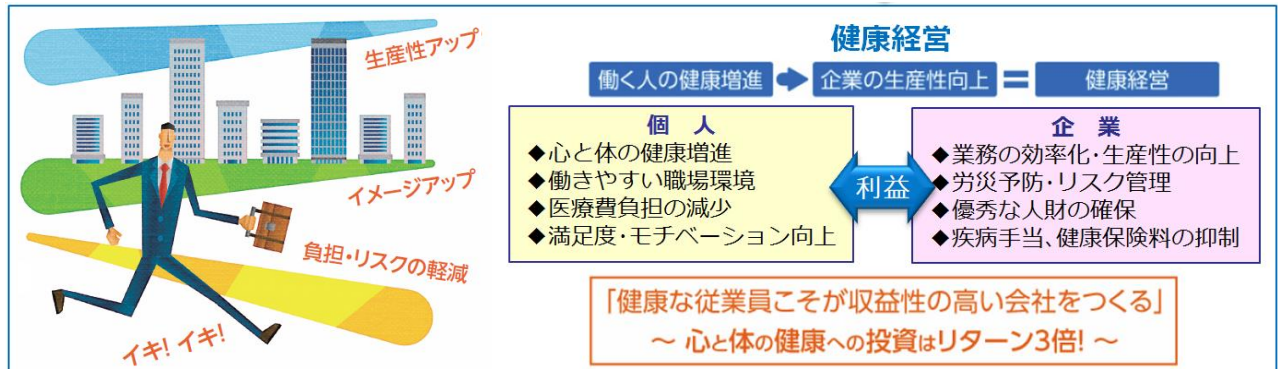
新潟県の発表によると、平成26年10月時点での県内における65歳以上の高齢者人口は過去最高の669,548人、総人口に占める割合（高齢化率）も29.1%となり、全国の高齢化率26.0%を3.1ポイント上回り、現在も急激な勢いで高齢化率が上昇しています。

このような超高齢社会では、労働者を取り巻くストレス要因が増加し、仕事や職業生活に強い不安や悩みを抱える人は増加傾向にあり、心の不調による休職や離職も増加しています。こうした状況は、労働者個々の問題に止まらず、企業の「生産性の低下・事故や不祥事の発生・業績の悪化」といった事態を引き起こす原因となりかねません。従業員の心身の健康管理は、これまでの個人責任から、“企業が支援・指導をしていくもの”という認識を持つことが必要となってきました。

そのような中、「健康経営(※1)」の普及・促進を目的として活動する一般社団法人ライフサポートマネジメント研究所（新潟市中央区、代表理事 北村慎一）は、「健康経営パッケージ」を提案、提供することを通じて、県内中小企業で働く人達の健康増進やモチベーション向上を図ることを目的として、地域経済の活性化を目指す北越銀行と営業アライアンスを締結しました。県内初の総合的なEAPサービスベンダー(※2)を目指して3年前に創業したライフサポートマネジメント研究所は、メンタルヘルス研修やセミナー、ストレスチェックサービスなどで実績があり、医療法人恵生会 南浜病院はじめ複数の企業や専門家と連携するなど業務リソースも整いながら、営業力の不足が課題となっていました。この度、北越銀行の知名度と営業力、顧客基盤を活用することで、県内企業への「健康経営」の普及・実現に向けた活動を一気に加速します。

●(※1)「健康経営」とは

従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の保持・増進と会社の生産性向上を目指す経営のこと



●(※2)「EAP」とは

EAPは、従業員を支援することで、企業の利益につなげることを目的とする包括的なカウンセリング・コンサルティングサービスです。そこには当然メンタルヘルス対策が含まれていますが、それはEAPサービスの中の一部でしかありません。どのような問題に対しても、従業員と組織の両者のパフォーマンス改善・向上を最終的なゴールとした対応を行うのが、EAPの特徴です。まさに、企業における“健康経営の実現”を目指すのがEAPサービスです。

●「健康経営パッケージ」の主な内容

○健康経営パッケージ プランⅠ【プレミアム】

～ 健康リーダーを育成し、健康経営の推進を内製化 ～

○健康経営パッケージ プランⅡ【スタンダード】

～ 健康経営への第一歩/セルフケア、ラインケアの基礎を学ぶ ～

○健康経営パッケージ プランⅢ【カスタム】

～ ストレスチェック後の社内環境整備を支援 ～

○オプションサービス

- ・ストレスチェック総合サービス 【WEB版】
 - ・ストレスチェック総合サービス 【ペーパー版】
 - ・医師面談、相談窓口設置、各種研修プログラム など
- 以上

【本件に関するお問い合わせ先】 一般社団法人ライフサポートマネジメント研究所
 新潟市中央区西大畑町620番地43
 電話 025 (225) 1555 営業部/野崎 剛、菊地砂織